

Rotary

国際
R
I

ジェニファー・ジョーンズ会長

2022-2023年度
会長 西村 敏信
幹事 茶谷 勝

出席報告

本日出席	12人
欠席	9人
出席率	57.14%
第3337回のメイクアップ	3人
第3337回の出席率	57.14%→76.19%

会長あいさつ

西村敏信会長



今日は2月3日節分です。2021年は何十年ぶりかで2日が節分だったので、ニュースになった。明日は立春。春の足音が近づいてきた。妻の誕生日はなんと14日バレンタインデーです。私がインテック時代、大阪で勤務していた頃、女性社員が多いので「義理チョコ」を紙袋にいっぱい持ち帰ったことがあった。最近、「70歳からのボケない生き方」という本を読んでいる。その中にチョコレートはキスと同じ効果があると書いてある。女性は恋をすると、ときめき物質が放出されて肌などがつややかになるという。毎日キスをして同じ物質が出るそうだ。5年長生きできるという説もある。チョコレートにもその効果があるらしい。皆さん、バレンタインには奥さんからいただいたチョコを食べて長生きしましょう。

米山記念奨学金受け渡し



ソニさん 6年ぶりネパール帰国

3つ報告します。1つは今月9日、ネパールに帰国します。3月5日、富山に戻ります。6年ぶりの古里ですので、家族といろんな所へ行きたいです。2つ目はビザの審査が通ったことです。3つ目は就職先が「くら寿し」に決まり、富山市の婦中店に配属されます。これからもずっと富山にいますので、よろしくお願いします。

卓話「電気料金値上げの背景とご家庭の影響」



川本吉伸君

卓話は川本吉伸君が「電気料金値上げの背景とご家庭の影響」の題で、なぜ大幅な値上げに至ったかを説明した。オール電化の場合、燃料費調整額が大きく関係しており、「値上げはやむを得ず、ご理解をお願いしたい」と訴えた。

現行料金は2008年に設定された。前提となる発電構成は、水力19%、原子力19%、残り62%を火力発電で賄っていた。昨年度の発電構成は、水力20%、原子力が稼働していない分は石炭火力に代わっている。LNG火力が10%を占め、石油火力を代替。80%が化石燃料に代わっており、うち67%が石炭。化石燃料はすべて輸入している。北電の電気料金が全国一安いのは、水力の割合の高さに加えて、火力の中で一番安く発電できる石炭火力が7割近くあるからだ。

しかし、この石炭が、ロシアのウクライナ侵攻で4倍に高騰した。さらに円安の分1.5倍が加わり、石炭の調達コストは約6倍に膨れ上がった。

電気料金は基本料金、電気量、燃料費調整額、再生可能エネルギー発電促進賦課金の4つの要素から成る。燃料費調整額は石炭、石油、LNGの火力発電の燃料の価格変動に応じて電気料金の単価を自動的に上げ下げする。

契約には規制と自由の2つ料金メニューがある。規制料金は国が一定程度規制し、国の認可が必要。自由料金は電力会社が自由に単価を設定できる。オール電化は自由料金。燃料費調整額は上限なく調整される。オール電化の燃料費調整額は単価で言うと、21年はマイナス調整で通常より安かった。ところが、石炭価格高騰とともにアップ、単価は9円64銭上がった。一般家庭の単価は20~30円ぐらいなので、30~40%はこの燃料費調整額で上がった。オール電化の1月の電気料金が極めて高かったことの要因だ。一方、燃料費調整額の上限が決まっている規制料金は昨年2月に上限に達したが、上限以上は価格転嫁できず、経営を大きく圧迫しており、4月から平均45.84%の値上げを申請している。

出席報告

本日出席	17人
欠席	4人
出席率	80.95%
第3338回のメイクアップ	1人
第3338回の出席率	57.14%→61.90%

会長あいさつ

西村敏信会長



3月26日開催のIMキャラバンで各クラブを回っているが、ほかのクラブはどんなテーマでIMを行っているのか、ネットで調べてみた。茨城県では8つ分区があり、それぞれテーマを決めている。「世界平和を考えるウクライナの現状とロータリー活動」、「ロシアのウクライナ侵

攻はいつ終わるのか」など重いテーマである。面白いところで、「銀座のママから学ぶ人間力」というのもあった。各クラブ、工夫しているのがうかがえる。富山第1グループのIMは全員登録でお願いする。

Happy Birthday



吉森勝代君(7日)

2月5日は母の祥月命日。歳を重ねるとともに、自分の誕生日はお母ちゃんに「ありがとう」と思えるようになりました。親は本当にありがたいです。



坪井夫人(14日)

人手不足で大変ですが、何とか妻のお蔭でこなしています。夕方の予約時間を1時間早く終わるようにしたところ、家族と話す時間が増えて良かったです。



西村夫人(14日)

妻は昭和32年生まれ。私は今も新婚当初の思いでいる。カバンに家族や妻の若い頃の写真をしのばせている。家族や妻を自慢できるのは大事だと思う。



春海智広君(16日)

会社では若手のつもりだったが、気づけば49歳。両親は3月に金婚式を迎えます。子どもは大学や高校の受験を控えており、親から受けた恩を子どもに返したい。

卓話「魚津市の子ども達の現状」

魚津市適応指導教室スマイル

ゲスト卓話は、魚津市教育センター所長の寺崎修さん(写真右)、特別支援教育コーディネーターの印田幸代さん(同中央)、市スクールソーシャルワーカーの橋本英子さん(同左)が、「魚津市の子ども達の現状」の題で担当した。3人は旧村木小学校3階にある市適応指導教室「スマイル」で不登校の子どもをサポートをしている。増加する不登校の現状と理解を訴えた。



寺崎さん ゲーム依存し不規則な生活で昼夜逆転の子どもがたくさんいる。朝起きられず、夜元気になる。無気力、無関心の子も多い。ただ、不良生徒はほとんどいない。半面、不登校の子が増えている。小・中学生2600人中、80人ほどが不登校。ずっと、見過ごされたきたが、特別支援の関心の高まりで顕在化した。

印田さん 発達障害の子どもはみんなと一緒に同じことをするのは苦手。校内では静かにしているが、本当はすごく耐えられない。そこで暴れるわけにはいかないから、不登校になる子どもが増えている。学校で暴れられない分、家庭で暴れたりして保護者が困っているという相談もよく受ける。不登校の子ども的人生全体を見通しながら関わっていくことが大切だと思う。

橋本さん 「スマイル」には小・中学生、各40人計80人が申し込んでいる。メッセージとして送りたいのは「人が救うしかない」ということ。「人が人を変えられる」と思っている。「One Day Teacher」という取り組みがある。何か特技を持っているお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんにお願いして、一緒に散歩したり、バスに乗って水族館へ行ったり、ごみ拾いのボランティアしていただいている。人と人の関わりを大切にしている。

ニコボックス報告

吉森勝代君 誕生祝い
坪井孝博君 夫人誕生祝い
西村敏信君 夫人誕生祝い
春海智広君 誕生祝い